

# 自立貢献

あいさつは あふれる笑顔の あいことば

横浜市立錦台中学校 学校だより

発行日 平成27年7月17日(金)

発行者 学校長 枝迫大成

所在地 神奈川区西寺尾3-10-1

電話 401-3644 FAX431-0244

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikidai/>

## 「さあ、夏休みだ それぞれの成長を！」



校長 枝迫 大成

修学旅行などそれぞれの学年行事がつまった1学期もあっという間に終わり、40日間の長い夏休みが始まります。部活動や学習会などで登校する生徒もいますが、ほとんどは地域や家庭での生活が主となります。家庭によっては、日中に子どもだけで過ごすこともあると思います。家庭での約束事を作って、規則正しい生活をしてほしいです。自由な時間が増えるけれど、あっという間に終わってしまう夏休みですから、家庭においても学校から配られた「夏休み帳」を参考にしながら、話しをしていただければと思います。

そして、水の事故や交通事故も気になります。今月に入って日本の海や川での事故が相次いでいます。また、自転車についてはこの6月に「改正道路交通法」により「自転車運転者講習」の受講義務が定められるなど自転車の取り締まりが強化されましたが、相変わらず違反者がいるようです。罰則は14歳以上ですので中学2年生の年齢からですが、14歳未満だから自転車の危険行為をやってもいいということではありません。学校では、自転車の危険行為のプリントを配布して説明をしたり、全校交通安全教室でスタントマンに交通安全の再現をしてもらいながら交通ルールの勉強もしました。事故のないように、気をつけて過ごしてほしいです。

さて、「男子三日会わざれば刮目して見よ」ということばがあります。原文は、「三国志・呉書・呂蒙伝」にある中国の三国時代の呉の国の君主である孫権に仕えた名将呂蒙の言葉で、「士別れて三日なれば刮目して相待すべし。」といます。これは、士(日々鍛錬する人)は三日も会わないでいると驚くほど成長しているもので、目を擦って良く見なさいという意味です。勇猛であるが無学だった呂蒙は、君主である孫権に、学問を学び人間の幅を広げるよう諭されてから、学問に励み、いつしか勇(恐れなくて向かっていく強い気力)に智(物事をよく理解する。賢さ)が伴う武将になっていたという話です。三日で人は変わるのだと言うことであれば、夏休みの40日間で一回りも二回りも大きく成長できるのではないかと思います。夏休みはしっかりと目標をもって、その目標達成に向けて一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。そして、刮目して成長した姿を見たいと思っています。